

教職員の皆様へ

# 支援チーム通信

第1号



千葉県不登校児童生徒支援チーム

令和2年5月現在、新型コロナウイルスによる臨時休校が続いていますが、学校が再開するとき、それは、不登校となっていた子どもたちにとって、学校生活に参加・復帰するチャンスになるかもしれません。これからできることを考えてみませんか？

1. 子ども・保護者の気持ち、声を聴く。～寄り添う姿勢～
2. 学校・クラスでの今後の生活の見通しを伝える。～日常との違い～
3. これまでできていることから活動を開始する。  
～スモールステップの積み重ね～
4. 子どもたちが適度な距離を保ち続ける。  
～フィジカル(ソーシャル)ディスタンス～



励むことと、くつろぐことの  
バランスが大切！

安定した生活  
睡眠・食事・人間関係

エネルギーを貯めていく  
消耗した分を回復・修復

- ・目標に向かう
- ・学校生活への参加
- ・社会的な自立

## 保護者の声から

最近、学校を長く休んでいるお子さんの保護者から、このような声を聞きました。

「学校が休みということで、毎日子どものことを気にかけなくていいから、正直、自分もラク…」  
一方、「(学校が)始まる気配を感じる。子どもたちは楽しんで、検温したりしているけど」とも語っていました。

「始まる気配…」という言葉に、保護者の戸惑いと不安を感じます。

私たちはこうした声を感じ取ることが、必要なことではないでしょうか？



チームの活用については、「千葉県子どもと親のサポートセンター  
(<http://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/>不登校児童生徒支援チーム/)」を  
ご覧ください。